

報道関係者各位

2025 年 10 月 20 日 (月)

デジタルハリウッド大学大学院 [DHGS] 修了生・澤田真吾氏による学発プロダクト 音が見えるメガネ「ONTELOPE Glass」 11 月 1 日より渋谷・代官山の蔦屋書店と 東京デフリンピック 2025「みる Tech」にて順次展示



日本初の株式会社による専門職大学院で、[SEAD (Science / Engineering / Art / Design)] 4 要素の融合をコンセプトとして、デジタルコミュニケーションを駆使し、社会に新しい産業や文化を生み出すリーダーを輩出するデジタルハリウッド大学大学院 (所在地: 東京・御茶ノ水、学長: 杉山知之、以下本大学院) の修了生、澤田真吾氏 (18 期首席修了 / 成果発表会 MVP / 現実科学ラボ特任助教) が代表取締役を務める株式会社オンテロープ (以下、ONTELOPE) による学発プロダクト、音が見えるメガネ「ONTELOPE Glass」が、2025 年 11 月 1 日より渋谷の蔦屋書店で、11 月 15 日より東京デフリンピック 2025「みる Tech」で、12 月 1 日より代官山の蔦屋書店で展示されます。

■展示概要

・渋谷 蔦屋書店

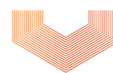
展示期間: 11 月 1 日 (土) - 11 月 14 日 (金)

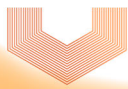
・東京デフリンピック 2025「みる Tech」

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター (デフリンピックスクエア) カルチャー棟

展示期間: 11 月 15 日 (土) - 11 月 26 日 (水)

・代官山 蔦屋書店





展示期間：12月1日（月）～12月14日（日）

■音が見えるメガネ「ONTELOPE Glass」開発経緯

ONTELOPE Glass（オンテロープ・グラス）は、音を“見る”という全く新しい感覚体験を通して、人と音の関係を再構築するメガネ型デバイスです。その開発の背景には、音や聴覚認知に関する研究、そして「見えないものを感覚に転換する」現実科学的アプローチがあります。代表の澤田真吾氏は、サウンドエンジニアとしての豊富な実務経験とともに、デジタルハリウッド大学大学院で「現実科学者」として研究を重ね、この技術の骨格を確立しました。音の周波数・音圧・時間変化を超高速で解析し、光の色と輝きに変換する独自アルゴリズムは、サイエンスとアートの融合によって生まれたものです。

開発には、光学・ゴム複合技術の世界的メーカーである朝日ラバー、精密加工と実装技術を担う神田工業、高品質なフレーム製造を手がける鯖江のメガネメーカー、接続・伝送技術のYokowo、そしてデザイン面の中核パートナーとして世界的デザイン賞を多数受賞している83Design株式会社が参画。それぞれが得意とする領域で協力し、素材・構造・造形・機能・安全性のあらゆる面から支援を行うことで、かつてない感覚的体験を提供するプロダクトが誕生しました。

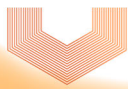
ONTELOPE Glassの開発の原点には、澤田氏の個人的な願いがありました。「音の付け方ひとつで、映像の意味がどれほど豊かに変わるか——この感覚を聴覚障害の方と共有したい」。その思いから、聴覚障害の当事者との対話を重ね、共に試作を繰り返すなかで、ONTELOPE Glassは「音がわかる」だけでなく、「発話を学べる」という新たな可能性までも見出しました。多くの協力者、プロボノメンバー、聴覚障害当事者とも試行錯誤を経て、4年以上にわたる研究開発の末、ONTELOPE Glassは形となりました。この開発のプロセス自体が、利他と共感による「相互探求」の文化を育み、世界をより良くしていくというONTELOPEの思想を体現しています。



■ONTELOPEについて

ONTELOPEは「人間拡張で、すべての人に新しい可能性を。」を理念に掲げるテクノロジースタートアップです。聴覚支援と感覚拡張をテーマに、フラッグシップ製品である音が見えるメガネ「ONTELOPE Glass」をはじめ、人の感覚と社会をつなぐ機器やサービスを開発しています。100名を超える多様な専門家によるプロボノチームと共に、サイエンス・テクノロジー・アートを横断するプロジェクトを推進。





ブランドメッセージ「音の世界が広がる」のもと、テクノロジーと人間の感性を融合させ、すべての人がゆたかに生きられる未来を探求しています。

ONTELOPE 公式 Web サイト: <https://ontelope.com/>

■開発者プロフィール

澤田真吾氏 株式会社オンテロープ 代表取締役

デジタルハリウッド大学大学院 18 期首席修了生／成果発表会 MVP／現実科学ラボ特任助教



音楽活動、研究開発職(材料工学)を経て、ノットサウンドデザインを設立。音のノウハウを中心に、クリエイティブ領域だけでなく、社会課題解決の取り組みをプロダクト開発ベースで行なっている。メディアアート「Soup of Voice」を通して、人々の遺志を未来永劫に残すプロジェクトを展開。

デジタルハリウッド大学大学院デジタルコンテンツ研究科を 2023 年 3 月に首席修了。修了課題「聴覚障害の課題を“音が目でわかる。”で解決！相互探求の文化づくりへ」が同大学院

の成果発表会にて MVP を獲得。MVP に支給される事業化支援金なども活用し、2023 年 12 月に株式会社オンテロープを設立。

■クラウドファンディングプロジェクトについて

本プロジェクトは、2025 年 11 月 5 日(水)から 12 月 31 日(水)までの期間、CCC グループが運営するクラウドファンディングサイト「GREEN FUNDING(グリーンファンディング)」にて実施します。詳細や購入方法は、以下のプロジェクトページにて公開予定です。

クラウドファンディング支援ページ: <https://greenfunding.jp/lab/projects/9018>

※本クラウドファンディング活動は ONTELOPE で行っているもので、デジタルハリウッド大学大学院は一切関与しておりません。

※ONTELOPE から「ONTELOPE Glass」のクラウドファンディング実施に関するリリースを発信しています。

【「ONTELOPE Glass」に関する問い合わせ】

株式会社オンテロープ お問い合わせページ

<https://ontelope.com/#footer>

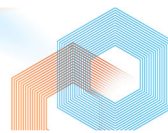
【デジタルハリウッド大学大学院について】



<https://gs.dhw.ac.jp/>

日本初の株式会社立の専門職大学院として 2004 年に開学。





超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学究領域 SEAD (Science / Engineering / Art / Design) の 4 要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により、「令和 6 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中 15 位、私立大学中 6 位となっており、多数の起業家を輩出している。

本大学院では、本学在籍の院生・修了生の起業・事業支援に注力しております。デジタルコミュニケーション領域での産学協同研究にご興味をお持ちの方、本学への入学を検討されている方、また企業の皆様は下記よりお気軽にお問い合わせください。

【デジタルハリウッド大学大学院に関するお問い合わせ先】

デジタルハリウッド大学大学院事務局

Mail: daigakuin@dhw.ac.jp

※上記お問い合わせ先は、大学院に関するお問い合わせ先となります。本リリースの音が見えるメガネ「ONTELOPE Glass」に関するお問い合わせは受け付けておりませんので、お間違えのないようご注意ください。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <http://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

